

令和6年度

# 学校評価アンケート

～まとめ～

## 千葉市立小中台南小学校

令和6年12月実施

※児童、保護者、教職員のそれぞれに学校評価アンケート調査を実施した結果をお知らせします。

回答数は児童 516 名 (71.2%)、保護者 421 名 (57.9%)、職員 21 名 (75.0%) です。

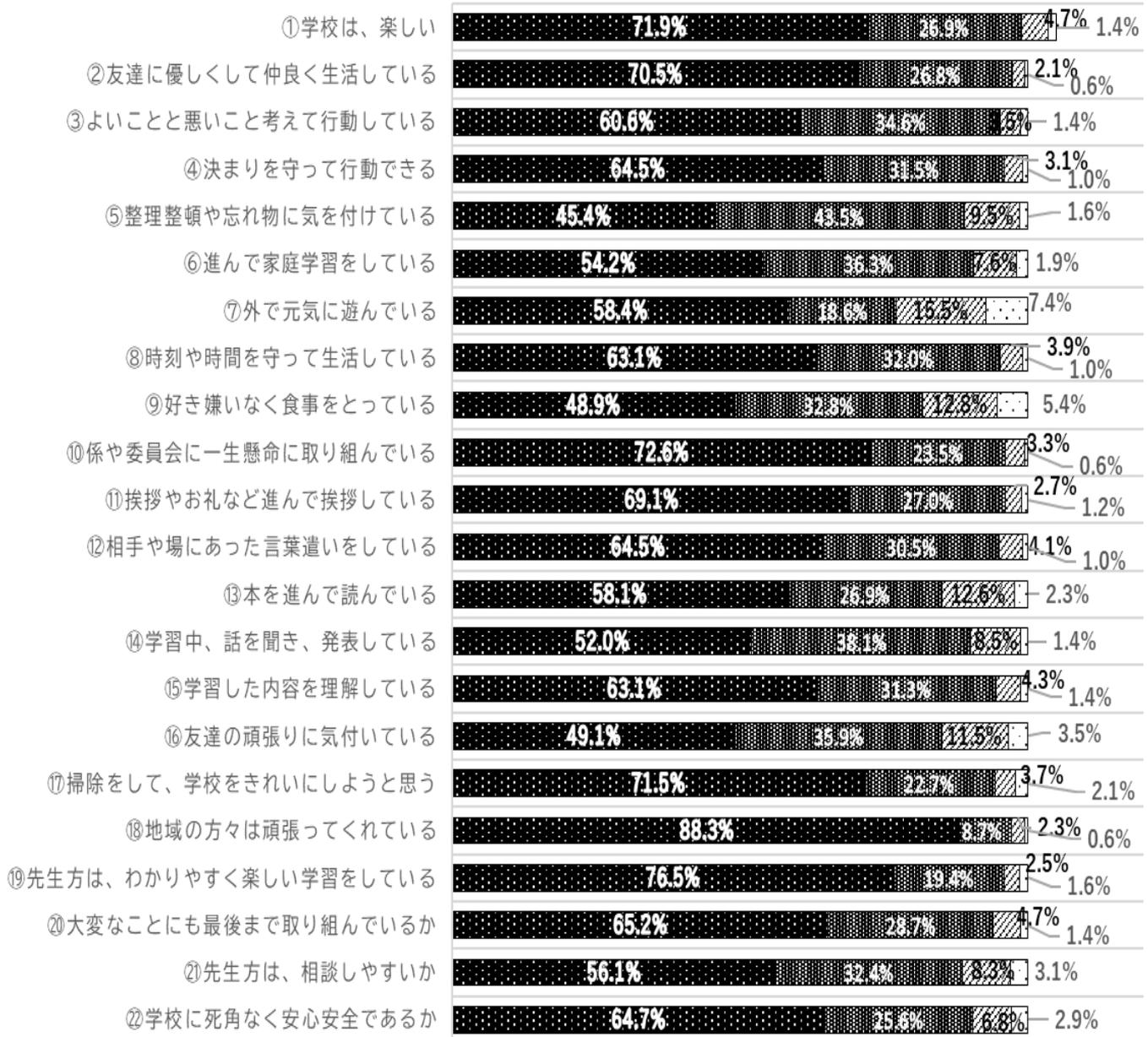
児童 (前年比+1.1%)、保護者 (前年比-26.4%)、教職員前年比+25.0%)

※自由記述は、まとめさせていただき、主なもの、全体に係るものを掲載させていただきました。

いただいた全てのご意見やご要望は、学校評議員、教職員で共有させていただきます。

## 学校評価（児童）

■4そう思う      ■3どちらかといえばそう思う  
 □2どちらかといえばそう思わない   □1そう思わない

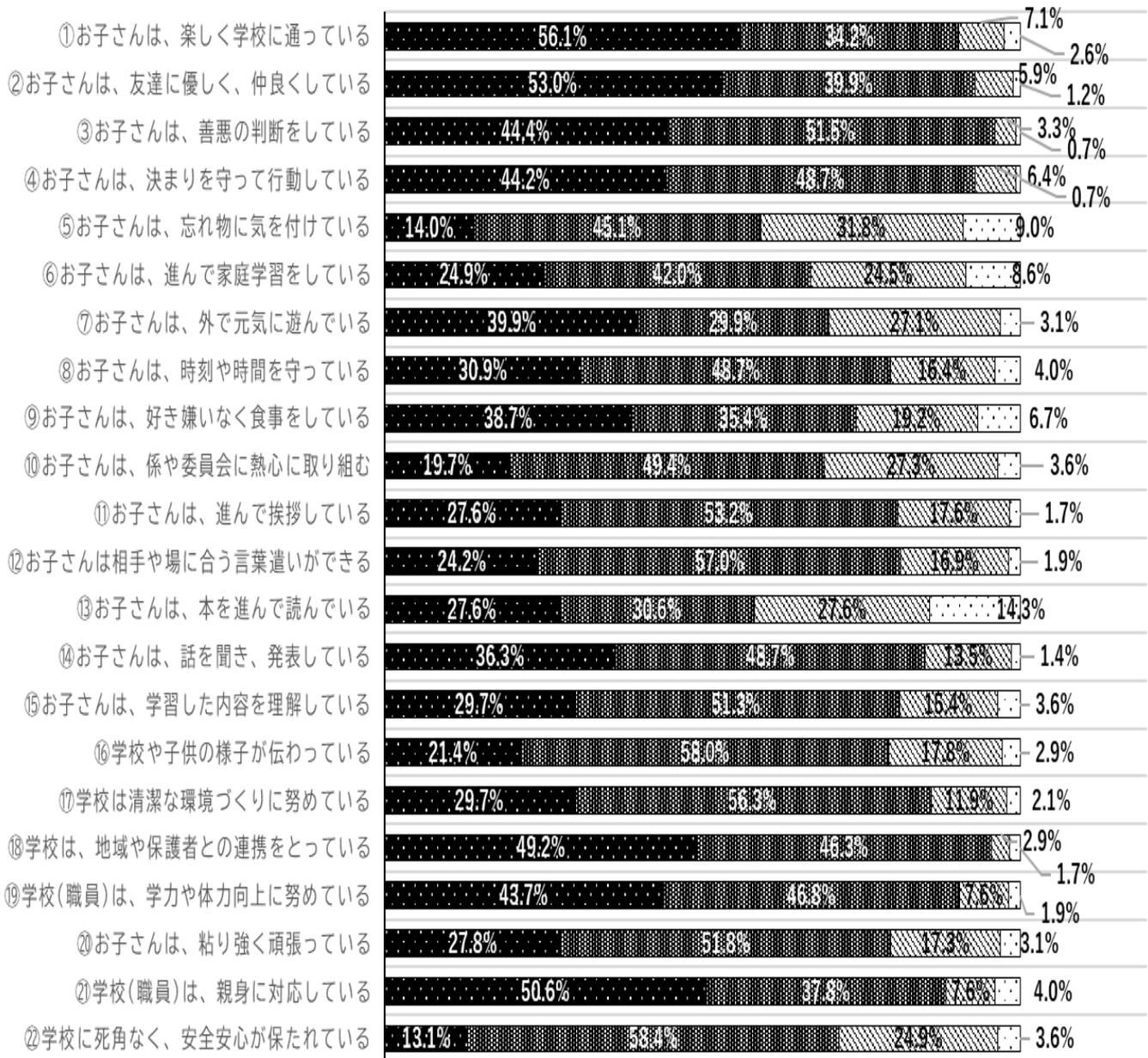


児童の間で評価が高かったのは「学校は楽しい」「友達と仲良く」でした。また、「決まりを守って」「時刻や時間を守って」「あいさつ」「言葉遣い」の項目についても肯定的な回答の割合が高くなっています。登校することや友達や規律についても高い評価になったことは喜ばしいことです。また、「係や清掃に一生懸命」「わかりやすい学習」が高い評価で、充実した学校生活を送っている児童が多いと思われます。一番評価が高かったものが「⑱地域の方々の存在」でした。日頃の見守りなどに感謝の気持ちをもっている児童が多くいるという表れだと思えます。

一方、「身の回りの整頓や忘れ物」「偏食」のほか、「外で遊ぶ」が課題として読み取れます。さらに、「人の話を聞く」、「友達の頑張りへの気付き」が伸びるとよりよくなるのではないかと結果になっています。

## 学校評価アンケート(保護者)

■4そう思う  
 ■3どちらかといえばそう思う  
 □2どちらかといえばそう思うわない  
 □1そう思わない

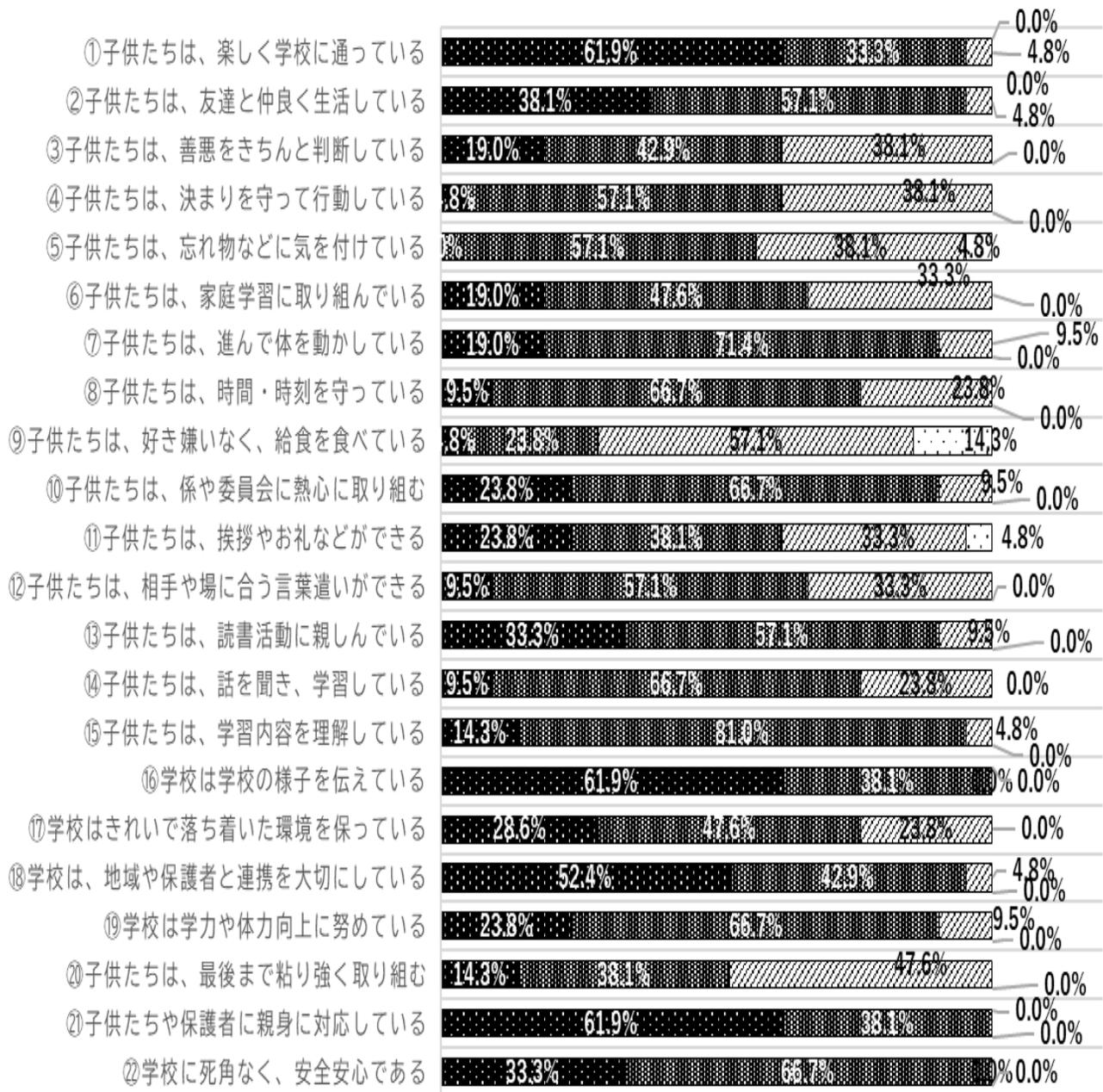


保護者の間で評価が高かったのは、児童と同様「学校は楽しい」「友達と仲良く」でした。また、「決まりを守って」の項目についても肯定的な回答の割合が高くなっています。お子さんが楽しそうに学校に通っていると感じられる保護者の皆様が多いことは、学校としても嬉しいことです。また、「地域や保護者との連携」が高い評価で、これに満足せず、これからさらによくなるように、学校、保護者、地域の三者が連携して児童の育成に努めていきたいと思えます。

一方、「身の回りの整頓や忘れ物」や「進んで本を読むこと」が課題として読み取れます。さらに、学校の死角や学校（児童）の様子が伝わらないことについて改善が必要と思えます。児童と対照的なのが、活動に対する項目で、児童は一生懸命やっているが、保護者様の評価が低い結果でした。お子さんに対して、もっとできるという期待感を結果から感じ取れました。

## 学校評価（職員）

■4そう思う  
 ▨3どちらかといえばそう思う  
 ▩2どちらかといえばそう思わない  
 □1そう思わない



職員の間で評価が高かったのは、児童、保護者と同様「学校は楽しい」「友達と仲良く」でした。また、児童、保護者の評価が低かった項目で、「体を動かしている」、「清掃、係、委員会活動の取組」や「読書活動」は、職員の評価は高く、対照的でした。また、職員は児童や保護の皆様の相談等には丁寧に対応している評価となりました。一人一人を大切に、保護者や地域の皆様と連携を図り、親身になって児童を見守っていきたいと思います。

一方、「偏食」「粘り強く取り組む」を課題として挙げています。また三者に共通して「身の回りの整頓や忘れ物」、児童はよくできていると評価した「言葉遣い」は職員から見て、改善の余地があると思われます。